

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号 (0171500490), 法人名 (社会福祉法人 七飯町社会福祉協議会), 事業所名 (七飯町グループホームひだまりの家), 所在地 (北海道亀田郡七飯町字中野210-2), 自己評価作成日 (H26年10月26日), 評価結果市町村受理日 (平成26年12月4日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の方々とのつながりを大切に考え、様々なボランティアの受け入れや近隣農家より旬の野菜の差し入れがある等町内会や子ども会との交流を深めており、地域に溶け込みながら連携を取れるようにしております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL (http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0171500499-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室), 訪問調査日 (平成26年11月17日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

七飯町近郊に立地している当事業所は、14年前に地域のニーズに合わせ社会福祉協議会が行政と一環して開設しており、後に2ユニットに増設し、ヘルパーステーションと居宅介護事業所が併設している。隣接には温泉付きのデイサービス事業所と老人ホーム好日園があり、自然豊かな環境の中に位置している。町内で活躍している多種多様な趣味の方々ボランティアとして訪れ、利用者に教示し交流を図り、完成した作品を町文化祭に出展している。手厚い職員体制をとっている事業所で、内部異動はあるが退職者がなく、若い職員は先輩から漬物作りや知恵を教わり、先輩は若い職員から刺激を受けながら良好な関係を築き、利用者が地域の中でその人らしく暮らせるように支援している。事業所の夏祭りやクリスマス会には、遠方の家族が帰省して利用者と再会するのが恒例となっている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、日々認識を共有して実践に取り組んでいます	管理者と職員は、「住み慣れた地域でその人らしい暮らし」の支援を主幹とした理念を共有し、サービスの提供に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域のお祭りへの参加や文化祭への出展、町内会やボランティア・近隣農家の方々と交流を行っています	地域で活動している書道・絵手紙・押し花・歩の会など多数のボランティアが訪問して交流をしている。中学生の職場体験の受け入れも積極的で地域との交流は図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々との交流の際に伝えていきます		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ほぼ2カ月に1度開催し、利用者やサービスの実状等について、報告・意見の集約を行い、サービス向上に努めています	町担当者、包括職員、家族と地域の方々の参加で定期的開催している。事業所の近況報告や外部評価結果を報告し取り組み内容や具体的課題を話し合い、議事録を開示している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への出席や運営状況・利用者に関する連絡や報告を密に取り、連携を図っています	運営母体が社会福祉協議会で地域のニーズを敏感に察し、行政と意見交換や情報を共有し協力体制を構築している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の人権遵守を基本として、全職員が正しい理解の上、身体拘束をしないケアに取り組んでいます	管理者と職員は困難な事例であっても利用者の人権を守るケアを基本に、家族の協力を得て、職員の安全を確保しながら、拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修参加や報告にて自身が学び、職員間でも注意を払い、防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて、支援体制を取っており、成年後見制度については、現在活用されている方がおります		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明については、利用者や家族が十分な理解・納得を得るよう、丁寧に行っています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議・家族会の際、意見や要望を聴き、反映に努めています	事業所の夏祭り、クリスマス会の行事には遠方の家族も多数集合するのが恒例となっており、家族と意見交換の時であり、管理者と職員は課題を聴取しサービスに反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のユニット会議や随時のミーティングまたは適宜個別面談を行い、対応しています	年2回、職員の自己評価を実施し、母体法人事務局長との面談や、ユニット会議で意見や提案を伝える機会をつくり運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力等を考慮し、正職員への昇格試験の新設や給与水準の見直しを実施し、整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自己評価シートの活用や内外の研修参加の機会を設け、職員の育成に取り組んでいます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互に認知症介護実践者研修等の受け入れを行い、また各研修参加の際、交流を図るよう努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています	本人に対して傾聴に取り組み、安心して暮らせるよう、信頼関係の構築に努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族に対しても傾聴に取り組み、ニーズを把握し、信頼関係を築くよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が第一に必要なとしているサービスを見極め、迅速に対応するよう努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「共に暮らす」という認識を持ち、支え合いの関係を築くよう心掛けています		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	情報を共有し、相互に相談しながら、共に本人を支えていけるよう関係を築いています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や知人の面会、自宅や馴染みの地域への外出、絵手紙を馴染みの人へ送る等関係継続の支援を行っています	面会について契約時に家族から人間関係の情報を入手している。利用者が作った絵手紙や年賀状で知人・友人に近況を報告したり自宅近くにドライブに出掛けるなど場面作りをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し、円滑な関わり合いや支え合いができるよう支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、入院や転所の場合は、お見舞いに伺ったり、情報提供や相談等の支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中で、表情や態度・訴えから本人の意向を把握するよう努めています	利用者の思いを日々確認し、自己選択や自己決定を尊重し、困難な時には表情や態度で意向を汲み取り支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族、ケアマネージャ等から情報を収集し、把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、心身の状態を観察し、記録・申し送りにより、把握に努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中で、本人と家族の要望を聴き、ユニット会議において検討し、介護計画を作成しており、項目をケース記録へ記入することにより、実践の確認をしています	職員の記録やアセスメントを基に家族の要望を反映し、看護師・職員・主治医の意見を取り入れ、ユニット会議で協議しながら課題の有無を検討し、担当者が介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人の言動や行った支援については、ありのまま誰が見てもわかる言葉で個別記録へ記入し、職員間で共有を図り、見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて、受診時の付き添い・送迎、入退院時の準備・送迎、書類申請の代行等を支援しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月、地域ボランティア(絵手紙・書道・読み聞かせ等)の訪問があり、趣味活動の支援に協力していただいています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の主治医の受診を尊重しています	本人・家族が望むかかりつけ医を重視し、家族の対応や職員と看護職員が受診を同行したり、訪問診療を受けることもある。各医療機関から情報の提供が得られる関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の関わりの中で、体調変化が見られた場合、即時看護職へ連絡し、適切な対応ができるようにしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は様子を見舞い、経過の把握に努め、医師の面談時は家族の了承を得て同席する等関係づくりを行っています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態に応じて、本人や家族等の意向を確認し、話し合いを行い、方針を共有の上支援に努めています	事業所で出来る事を見極め家族の意向を尊重した指針を作成し、同意を得ている。職員は看取りに関する研修会に参加したり、事業所内で勉強会を実施するなど方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習を受講し、急変時の対応について訓練を行っており、またヒヤリハット事例についてユニット会議において話し合い、備えています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の連絡網を作成し、24時間対応できる体制を整えており、年2回昼夜を想定し、避難訓練を実施しています	年2回併設のヘルパーステーション、居宅支援事業所と合同で日中・夜間想定訓練を実施している。地域住民の参加もあり家族の緊急連絡網も作成し、備蓄も準備している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合った声かけや対応を行い、個々のプライバシーに配慮しています	プライバシーの保護について家族に説明し同意を得ている。羞恥心を伴う介助は特に配慮し、利用者の人格を尊重した支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の状態に合わせて声かけを行い、思いや希望を表現できるように支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体調や気分に合わせて、できるだけ本人の希望に沿うよう支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度訪問理容での散髪を行い、本人の希望と季節に合った着衣ができるよう、タンス内の整理も含めて支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や行事に合わせて、個々の力を生かし、一緒に下準備や食事・後片付けを行っています	調理担当の職員が献立を作成し、近隣住民から野菜の差し入れがあり、利用者の希望を取り入れてメニューを変更したり、回転ずしを利用するなど楽しい食事に柔軟に対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に応じて不足なく摂取できるよう、食事形態を工夫する等支援しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけ・見守り・介助等、個々に合った口腔ケアを行っています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや時間誘導を行い、排泄の自立を支援しています	職員は排泄パターンや生活習慣を把握し、個々に声掛けや誘導をして日中は、布パンツに変えてトイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳酸飲料を含む十分な水分・野菜等を多く摂取していただいている他、軽い運動を行い、予防に努めています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その方の体調や気分・希望やタイミングに合わせて入浴を行っています	週2回の入浴を目安に個々に合わせて支援している。温泉のある隣接のデイサービス事業所には、簡易スロープの設備があり車椅子ごと入浴できるので、温泉入浴も利用者に好評である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に合った適度な休息を行い、安眠に向けて日中の生活リズムや睡眠環境を整え、支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の処方内容について理解し、見守りや介助にて服薬を支援しており、症状の変化の有無を確認しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方に合わせて清掃や食器拭き等を手伝っていただいたり、希望のおやつやレクを提供し支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	できる限り本人の希望に沿った外出が行えるよう、家族とも協力しながら支援しています	天気の良い日は、気分転換やストレス発散、五感の刺激の機会として外出支援を促したり、遠出のドライブを楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金は施設管理ですが、本人と家族の希望で所持されている方については、買い物支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じ、支援するよう努めています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を出す為、畑の生花や見合った飾りを施し、今年度はエアコンを設置しています	各ユニットの室内の構造は違っているが、利用者がボランティアから教わった作品が飾られ、季節感のある小物や寄贈された絵画があり、ユニット間の通路は斜路となっており、歩行訓練の場ともなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓やソファ等において思い思いに過ごせるよう配置等に配慮しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの物(タンスや棚、仏壇等)を準備し、心地よい居室となるよう配慮しています	各居室が陽当たり良く設計されており、明るくて暖かく、在宅当時の家具や日用品があり、馴染みの物に囲まれて居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーや手すりを設置し、安全面に配慮しており、居室口に表札と目印で花の名前、トイレには誘導マークを付け、自立を支援しています		